



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使 回 数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数				
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネドロオウムシ イネミズゾウムシ カメムシ類	3kg/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4回以内(育苗箱への処理及び 側条施用は合計 1 回以内、本田 での散布、空中散布、無人航空 機散布は合計 3 回以内)				
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回 以内、定植後の株元散布は 1 回 以内、散布は 2 回以内)				
	コナジラミ類	1～2g/株			植穴土壌混和					
	アブラムシ類	1g/株								
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2g/株	定植時		株元散布					
	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/株				生育期 但し、 収穫開始 14 日前 まで				
うり類 (漬物用)	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2g/株 1～2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)				
	コナジラミ類	2g/株					育苗期	株元散布		
	ハモグリバエ類 コナジラミ類 アブラムシ類	1～2g/株 1g/株							植穴土壌混和	
メロ ン	ハモグリバエ類 アザミウマ類 コナジラミ類 アブラムシ類	2g/株 1～2g/株 1g/株	定植時		株元散布	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回 以内、散布は 2 回以内)				
	コナジラミ類 アブラムシ類	1～2g/株 1g/株								
	す い か	ワタアブラムシ					2g/株	育苗期	株元散布	4 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
								定植時	植穴土壌混和	
生育期 但し、 収穫 21 日前まで			株元散布							
か ぼ ち ゃ	アブラムシ類 コナジラミ類		定植時		植穴土壌混和	3 回以内(定植時の土壌混和及 び育苗トレイへの灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)				
ズッキーニ	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫開始 14 日前 まで		株元散布	4 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)				
な す	ハモグリバエ類 コナジラミ類 アブラムシ類	2g/株 1～2g/株 1g/株	育苗期		2回以内	植穴土壌混和	3回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回 以内、散布及び定植後の株元散 布は合計 2 回以内)			
	ハモグリバエ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1～2g/株		定植時						
	アブラムシ類 アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株						生育期 但し、 収穫前日まで	株元散布	
	ト マ ト ミニトマト	ハモグリバエ類 コナジラミ類 アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g/株 1g/株 培土 1 匁 当り 10g	育苗期 定植時 は種前		1回		植穴土壌混和 培土混和	5回以内(培土混和及び灌注は 合計 1 回以内、育苗期の株元散 布は 1 回以内、定植時の土壌混 和は 1 回以内、散布及び定植後 の株元散布は合計 2 回以内)	
		コナジラミ類 アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫前日まで		2回以内		株元散布		
ピーマン		アザミウマ類 アブラムシ類	1～2g/株 1g/株	育苗期 定植時		1回	植穴土壌混和	3 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元 散布は合計 2 回以内)		
	アブラムシ類		生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内	株元散布					





適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	
とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	
	アザミウマ類	1～2g/株	定植時		植穴土壌混和		
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫開始14日前まで		株元散布		
とうがらし (葉)	アザミウマ類 アブラムシ類		定植時 但し、 収穫30日前まで		植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
キャベツ	アブラムシ類	2g/株	育苗期		株元散布	3回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)	
	アオムシ コナガ	2～3g/株	定植時		植穴土壌混和		
	アブラムシ類	2g/株					
	ハイマダラノメイガ	3g/株					
はくさい	アオムシ コナガ	2～3g/株				3回以内(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)	
	アブラムシ類	2g/株				3回以内(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)	
	ハイマダラノメイガ	3g/株					
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ	2g/株					
だいこん	アブラムシ類	6kg/10a	は種時		1回	播溝土壌混和	5回以内(は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
	キスジノミハムシ	4～6kg/10a				全面土壌混和	
		9～12kg/10a				散布	
		タネバエ				生育期 但し、 収穫30日前まで	
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時			播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)	アブラムシ類 キスジノミハムシ		は種時				
かぶ							
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土10当たり15g	は種前			培土混和	4回以内(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		1g/株	育苗期後半			株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時		植穴土壌混和		
わけぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	生育期 但し、 収穫21日前まで	2回以内	株元散布	4回以内(定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)	
ねぎ			は種時		播溝土壌混和	株元散布	4回以内(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
			定植時				
		クロバネキノコバエ類 アザミウマ類	生育期 但し、 収穫3日前まで				
にんじん	ハモグリバエ類	6～9kg/10a	は種時		1回	播溝土壌混和	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
						全面土壌混和	2回以内(は種時の全面土壌混和は1回以内、生育期の株元散布は1回以内)
葉ごぼう	アブラムシ類	6kg/10a	生育期 但し、 収穫21日前まで	株元散布		3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
ほうれんそう			は種時	播溝土壌混和			
セルリー			2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
いちご	ワタアブラムシ	0.5～1g/株				1回	





適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
らっきょう	アザミウマ類	6kg/10a	生育期 但し、 収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
くわい	アブラムシ類	3kg/10a	収穫30日前まで	1回	株元散布	3回以内(株元散布は1回以内、散布は2回以内)
オクラ		9kg/10a	生育期 但し、 収穫開始14日前まで			
しょうが			生育期 但し、 収穫14日前まで			
実えんどう さやえんどう さやいんげん			生育期 但し、 収穫開始14日前まで			
だいず えだまめ	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
しそ	マデイラコナカイガラムシ	2g/株(但し、10a 当り25kgまで)	定植時	植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
食用ぎく	アブラムシ類	1g/株(但し、10a 当り30kgまで)				
	マメハモグリバエ	2g/株(但し、10a 当り30kgまで)				
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	播溝土壌混和	3回以内(は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	
			定植時	植溝土壌混和		
ふき	アブラムシ類	20kg/10a	定植後～生育期 (草丈20cm頃まで) 但し、収穫45日前まで	2回以内 5回以内	土壌表面散布	3回以内(土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)
茶	クワシロカイガラムシ	12kg/10a	摘採 7 日前まで		株元土壌混和	2回以内
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期		株元散布	5回以内
なし(苗木)	アブラムシ類	20g/株(但し、10a 当り110kgまで)				1回
きく ガーベラ	マメハモグリバエ	2g/株(但し、10a 当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内(土壌混和は1回以内)
	コナジラミ類 アブラムシ類	1g/株(但し、10a 当り30kgまで)				
	アブラムシ類	20kg/10a				
花き類・観葉 植物(きく、ガ ーベラを除く)	コナジラミ類 アブラムシ類	1g/株(但し、10a 当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5回以内	株元散布	
つつじ類	ツツジグンバイ	6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
さとうきび	カンジャコバネナガカメムシ	6～9kg/10a	生育期 但し、 収穫45日前まで	2回以内	散布	5回以内(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
	メイチュウ類	9kg/10a				
いぐさ	イグサシンムシガ	3～6kg/10a	発生初期			2回以内





⚠ 効果・薬害等の注意



- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤を水稻及びいぐさに使用する場合には、湛水状態（3cm 程度）で田面に均一に散布し、4～5 日間は湛水状態を保ち、散布後7 日間は落水やかけ流しをしない。
- 本剤をくわいに使用する場合には、田面に均一に散布し散布後4～5 日間は湛水状態を保ち、散布後7 日間は落水やかけ流しをしない。
- つまみ菜・間引き菜には使用しない。
- 本剤の株元散布を行う際は、処理直後に灌水する。
- かんきつ及びなしに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水する。
なお、本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布する。
- ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とす。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ① ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。
とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。散布後は水管理に注意する。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

